

会 議 録

会 議 名 称	令和元年度 第2回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和元年8月6日(火) 午後1時30分開会 午後3時50分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 会長 鹿野 良子【副会長】 登米市景観形成会議 副会長 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 会長 遊佐 正克 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 齊藤 敬一 登米市中学校長会 大場 正浩 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 佐々木 栄一 登米市民生委員児童委員協議会 会長 關 嘉基 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 以上14人
欠席者(委員)の氏名	一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀 稔 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 石塚 琢磨 以上6人
事務局職員職氏名	【事務局】 企画部 次長 佐藤 嘉浩 企画部企画政策課 課長 遠藤 貞 企画部企画政策課 課長補佐(総合調整) 平井 崇 企画部企画政策課 課長補佐兼企画政策係長 伊藤 宏一 企画部企画政策課 企画政策係 主査 主藤 貴宏
議 題	【協議事項】 第二次登米市総合計画基本計画の検証について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	<p>【資料1】第二次登米市総合計画基本計画の検証（案）</p> <p>【資料2】登米市財政の推移と今後の見通し</p> <p>【資料3】登米市人口ビジョンの変化</p> <p>【資料4】登米市公共施設等総合管理計画個別計画（素案）【集約版】</p> <p>【資料5】登米市まちづくり市民意向調査集計表【速報】</p>
発言者	発言要旨
【1 開会】	
事務局	<p>ただいまから、令和元年度第2回登米市総合計画審議会を開会いたします。</p> <p>なお、本日の審議会において、13番 千葉みどり委員、14番 猪股育夫委員、16番 芳賀 稔委員、18番 菅原亜希子委員、20番 石塚琢磨委員の5人から欠席の連絡をいただいております。</p>
【2 挨拶】	
会長	<p>今回から、第二次登米市総合計画基本計画の見直しに係る本格的な議論に入ります。</p> <p>本日の会議では、現行基本計画の検証について協議いただくわけですが、この検証結果が基本計画の見直しにおけるベースとなりますので、委員皆様からの活発な発言をお願いし、挨拶いたします。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
【3 議題】	
事務局	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題は、登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり議事の進行を行っていただくことになっておりますので、徳永会長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>はじめに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要となる。</p> <p>本日は14名の委員に出席をいただいているので、会議は成立することを確認する。</p> <p>会議録署名人は、19番 鈴木 香委員、2番 寺島洋子委員にお願いする。</p> <p>【協議事項】</p> <p>「第二次登米市総合計画基本計画の検証について」事務局からの説明を求める。</p>
事務局	(配布資料1～5に基づき説明を行う)
会長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>それでは、ご意見や質疑等を伺います。</p>
委員	<p>資料2、財政の推移と今後の見通しについては、まさしくこのとおりで、17ページの「登米市の財政運営上の課題」にも記載されているように、大変な危機的状況ということは聞いていた。一番の原因は人口減少による影響が大きく、行政だけではなく、民間にも問題がたくさん出てくると思う。以前は協働のまちづくりを進めてきたが、最近あまり聞かなくなった。民間事業者からは、職員と市民とのコミュニケーションが薄れているとの声を聞く。ここで心配なのが、財政危機の中で職員を確保し、行政サービスを維持できるのか。</p>

	<p>また、同じく 17 ページに地方交付税の減額や、短期に多数の施設整備が行われたため、負債が膨らみ借金の返済や維持費用が重い負担など記載されているが、地方行政の運営が厳しくなる中で夕張市のようにならないか。これまでの 10 年間とこれからの 10 年では時代も変わっており、新しい課題も出てくる中で、行政運営や民間の活動が展開できるか心配がある。</p> <p>あわせて、指定管理の指定は効果的に進んでいるのか。</p>
事務局	<p>まず、人員関係は、現在、第 3 次定員適正化計画を進めているが、次期計画に向けた検討を来年度から行う予定としている。今回の総合計画見直しに当たって、いろいろな課題も出ており、まずは組織機構の見直しを検討中である。ただ、全体職員数の議論は煮詰まっていないため、正確な数字はお話しできないが、前に進んだ検討はさせていただいていることはご理解願いたい。個別政策 25 の中に効率的な行財政運営の推進があるので、当然この中でも職員の部分も記述されるものと考えている。</p> <p>市民協働については、今後も進めていきたいと考えている。一方で近年、市民協働だけではなく、公民連携も言われはじめているので、今後そういった取組も検討していかなければならないと事務局では考えている</p> <p>指定管理については、様々な施設を管理して頂いているが、基本的には今後の方向性は変わらないと思っている。しかし、公共施設等総合管理計画の説明時にもお話ししたが、施設が古くなった場合、その後の再配置に係る課題がある。今後、市民や指定管理者との話し合いが必要になると思うが、指定管理自体をすぐにやめるという議論にはならないと考えている。</p>
委員	<p>職員数については、合併当初から削減する方向で進めてきたが、あまりにやりすぎて、ますます行政サービスが低下してはまずいと思っていた。</p> <p>公共施設は、使われていなくても現状では民間に貸すことができないので、もう少し弾力的に対応することはできないものか。</p>
会長	<p>資料 2 の財政に係る資料は、合併後から現在までの推移を整理していると思われるが、私たちとしては、ある程度その状況を見込んで第二次登米市総合計画を策定した部分がある。第二次計画を策定した結果、状況がどう変わり、そのことを受けて、現行のままなのか、見直すのかということだと思うので、そういったところをもう一言付け加えてもらおうと判断しやすいと感じた。</p>
委員	<p>第二次総合計画策定時は、こんなにも世の中が変わるとは想像していなかったと思う。人口減少はある程度予測できても、社会の変化や財政状況がこんなに厳しくなるとまでは予測できなかった。現状を見ると、抜本的な見直しや大きな改革が必要ではないか。</p>
委員	<p>資料 2 の 2 ページに記載されているが、合併当初と比べて自主財源が 19 億ほど増えている。特に市税で、人口が減ってきているにもかかわらず 15 億ほど増えているが、その要因は何だと分析しているか。ほかの歳入が減っている中で、これは非常に良いことである。併せて、ふるさと納税の現状についてもお聞かせいただきたい。</p> <p>資料 2 の最終ページの 1 番目に「本市の財政は今が正念場」とあるが、この正</p>

	<p>念場とは何を指すのか。私は、「今を乗り越えれば将来は心配いらない」としか理解できない。しかし、読んでみるとそういう意味ではなく、どんどん大変になるという内容である。今が正念場の意味をお聞かせ願いたい。</p> <p>人口減少の話ばかり書いているが、20年後、30年後には登米市を構成している旧町で3,000人程に落ち込んでいく町がでる。人口減少がはっきりしているのであれば、当然ながら人口増加につなげる政策も考えなければならない。</p> <p>前回は話したが、登米市を良いと思い、家を建て一生住むことを決めた人たちがいる現実がある。この人たちは、どのような理由で登米市を選んだのかデータとして押さえる必要があると話したつもりだった。大きな方向性として、老若男女問わず市民が住みよいためまちづくりを目指す中で、人口増につなげることこそが最も大切な基本計画なのではないかと思うが。</p>
事務局	<p>歳入の市税が微増している要因は、市税の中でも市民税と個人の固定資産税が伸びている。市民税は、所得が少しずつ上がってきていると思われ、固定資産税は、住宅の新規着工件数が多くなっている。固定資産関係を示す一つのデータとして、資料1の6ページに一世帯当たりの平均人員の推移のデータがあるが、この棒グラフをご覧ください。合併以降、人口は減っているものの、世帯数は右肩上がりに伸びているところがあり、こういった要因が考えられる。</p> <p>平成30年度のふるさと納税額は、1億2~3,000万円と記憶している。泉佐野市のように何百億と集めた自治体もあるが、本市は総務省が示すルールにのっとって進めている。今後はもっと集められるように、アピールの手法を考えたい。</p> <p>正念場の部分は、資料2の9ページに普通交付税の合併算定替と年度別見込額の状況をお聞きいただきたい。本市は合併による特例があり、合併初年度とその後10年間の計11年間は交付税の特別な措置がとられており、9町が存在していたとみなされ、通常よりも多くいただいていた。12年目の平成28年からは、その額が段階的に縮減され、最終的には通常の市と同じ算定方法となる。さらに令和3年度からは、令和2年度に実施される国勢調査の結果に基づいた算定がされ、現段階において人口減少による一定程度の減額が見込まれている。その額が合併算定替前と比べて、単年度で一般財源が40億円の減額となり、大変厳しい状況となる。本来、歳出改革をしなければならないところだが、なかなか進んでおらず、財政調整基金を取り崩して対応している。それが近隣市と比べると財政調整基金が少ない理由となる。こういった意味から、正念場という言葉を使わせていただいた。</p> <p>人口増につながる施策を考えることについては、ごもつとものお話しである。私たちも人口増につながる対策を打たせていただきたい。ただ、本日お示しさせていただいているのは、その前の検証の部分である。ぜひ、委員からはどうやったら増やすことができるか、アイデアを含めてご提言いただければ大変ありがたい。</p>
委員	<p>資料2の17ページに登米市財政運営上の課題とあるが、今、登米市がおかれている状況は財政的に大変厳しいと多くの方が思っている。特に、病院会計には毎年20億ほど繰り出している現状がある。まず、このページの1番目に「財政調整</p>

	<p>基金を取り崩さなければ予算編成ができなくなってしまう。数年以内に財調の枯渇が懸念される状況」とある。現在残高は62億円あるが、このままではなくなってしまう。そして、4番目に「本市のおかれた状況が、関係者で共有されてきたとは言い難い」とあるが、これはどういう意味で、関係者とは誰のことを指すのか。市民は、以前から財政状況が厳しい事実はわかっているのに、今更こんなことを言うのか。</p>
事務局	<p>市民の皆さんには、現在、広報とめにおいて、シリーズ化をして本市の財政状況お知らせしている。また、全職員に対しても、資料2を使って副市長から説明を行い、現状の共有を図ったところである。さらに、議会に対しても改めて交付税の動きや、これまでの流れも含めた今後の見込みを説明し、ご理解をいただいている。したがって、関係者とは広い意味で使っているの、すべての皆さんととらえていただきたい。恐らく全体の姿がよく見えていないと思われるため、それをお示しする意味でも現在取り組んでいるところである。</p>
事務局	<p>まず初めに、資料2が作られた経緯をお話ししなければならなかった。この資料は、財政状況を共有するために職員向けに作成したものである。当然ながら、以前から財政当局は危機的な状況を把握していたが、そのほかの職員までその状況が共有されていない面もあった。計画の見直しの際には、このことを念頭に作成させていただくので、ご理解をお願いしたい。</p>
委員	<p>本日の議題と言いますか、委員の方々からご意見をいただきたい中味は、資料1の3ページに記載されているが、二次計画の見直しについてということで、(1)の基本計画の見直し範囲で別資料に示す各4つの視点であり、資料2から5までご説明いただいたということですのでよろしいですね。それを頭に入れながら、資料1の個別政策や重点戦略について、現行のままで良いのか、見直すのかという事務局の原案について、「いや、ここは見直すべきじゃないか」とか「ここは見直す必要が無いんじゃないか」と、ご意見いただきたいということですのでよろしいか。</p>
事務局	<p>委員お話しのとおりです。</p>
委員	<p>そうすると、資料61ページ、個別政策17の観光の振興について、上の囲みの現況と課題のところの「通過型の観光客が多くて、市内で複数日滞在するような誘客が難しい」と、下の方では「交流人口増加を図るために地域資源を活かしたまちの魅力向上に取り組めます」ということで、現行のままという形になっている。最近の動きだとフードマラソンには、外国人200人を含む全国から約5,000人のランナーが来るんですが、なかなか泊まる施設が無いということで、ほとんどが仙台に泊まっている。登米市内に泊まっているのは、スタッフだけという現状がある。また、観光客の見込み数を見ても、宿泊観光客数が県全域の中で登米市がどれだけいるかという1%にも満たない。実際、そういう施設のキャパが無いからだと考えて諦めるのではなくて、最近だと民泊の取組や農泊の取組があるので、そういった新しい取組を書き込んではどうかと感じたところである。</p> <p>また、米川の水かぶりや、宮城オルレの登米コースとかで観光客が増える可能性もあるので、いかに登米市内に泊まってもらい、お金を落としてもらおうかということを戦略的に考えていく必要がある。現行のままではなくて、農泊や民泊な</p>

	<p>ど、違った切り口で強化してはどうかと感じた。</p> <p>最近の話では、7月の下旬に採択が決まったようだが、県で各地域の農泊や民泊に絡めて、体験メニューなど色んな形を考えている。そういった地域で議論して考えたアイデアを専門家の方々からご意見をいただき、ブラッシュアップして、地域に戻し、より良い商品をつくってもらおうというプラットフォームの形成が進んでいる。実はこれを登米市でやりたいという話が出ており、観光サイドにいる地域おこし協力隊員が地元で駆け回っている状況にある。</p> <p>そうしたことで、体験メニューが充実すれば、泊まりたいという人が増えてくる。農泊だと非常にハードルが低い。民泊だと、どうしても環境法などいろいろな施設要件のハードルが高いので、このような形でやっていくことによって、泊まるお客さんが増えて、最終的にはお金が落ちる。やはり儲けないと持続的にやっていけないので考えてほしい。</p> <p>参考までに、今日の読売新聞に出ていたが、イベント民泊の取組を秋田県の大仙市で行っている。大曲で昨年イベント民泊を行い、42の方が民泊した事例である。また、釜石ではワールドカップのラグビーの関連で、イベント民泊を行うため、各地でアイデアを出している。ぜひ登米市でも考えてほしい。</p> <p>また、交流人口の表現であるが、最近だと関係人口という言葉が出てきている。移住定住だとなかなかハードルが高いので、関係人口として登米市に興味を持ってもらい、実際に来るだけではなくて外から意見をもらい、遊びに来てもらって面白かったら移住しよう、定住しようという流れをつくる考え方も出てきている。交流人口だけではなくて、関係人口という観点も少し入れていただくと良いと思った。</p> <p>あとは、重点戦略V、101ページもそういったことを考えれば、もう少し工夫できると感じた。</p>
<p>会 長</p>	<p>それぞれの委員から個別政策の評価をお聞きしたが、私自身もなかなか資料を読み込めていないところがある。この場で発言できる方はどんどんしていただいてよろしいが、ワーキングでの議論は8月下旬のようなので、それまでの間にしっかり読み込んでいただいて、気が付いたことをどんどん言っていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>今、委員お話しのとおり、行政がらみでどんどん変わっている。そういう意味で、例えば33ページ、医療について市民や議会が大騒ぎしたので、もっと厳しい改善策が必要である。また、59ページの商業の振興については、「現行のまま」と書いている。今度開催する宮城県振興事務所と各商工会の役員と懇談会のテーマにもしているが、いずれの地域の商店街は壊滅している。今まで2つあった商店街も、大通り商店街と市役所前の中央商店街も協同組合を解散した。それくらい衰退している。それに追っかけて、商業者には消費税、それから昨日も経済産業省から来て説明会されたが、キャッシュレスに全然対応できる状況ではない。公共料金も値上げして、商業者は本当に大変な状態で生き残れない状況となっている。そうした中で現行のままでは、ちょっと甘いんではないかと思う。</p> <p>それからこの間、下水道の審議会が行われ、上下水道を1本化して統合する話を受けた。上水道の将来ビジョンを示されたが、私は「上下水道の将来ビジョン</p>

	<p>ではないのか」と提案したら、「管理監督が違うので」という話だった。上下水道となるので、やはり「上下水道と共に環境整備をしていく」ということにも触れる必要があるのではないかと。</p>
委員	<p>財政が緊迫している状態についてよくわかったが、そうであれば各政策は見直しを前提にして計画を立てるべきではないかと思う。21ページの文化財保護と文化芸術活動の充実とあるが、例えば、文化施設の入場者数が年々低下している。あとは、回数についてもだいが減っているのに、このままで本当に良いのかということと考えたら単純明快ですよ。私は、こういう回答はないと思う。「じゃあどうするのか」ということを前提に考えていかないと、残念ながら本当に伝わっていないんじゃないかと思ってしまう。現行のままが随所にあるので、それはおかしいと私は思った。</p>
委員	<p>資料1の個別政策2、教育の充実から意見を述べさせていただく。今、登米市では学校再編を進めているが、なぜこういうことを申し上げるかと言うと、これまで公民館は、小学校学区を対象にして設置されてきた経緯がある。各町に1つの小学校と1つの中学校を原則とするということは、1つの小学校となれば公民館も1つになるのか。今、21のコミュニティがあるってことは、21の小学校があるから大丈夫だと。そういうことをこの総合計画の中でうたっていないので、ちょっと心配だと思った。関連して、個別政策の3に生涯学習の充実があるが、ここにも公民館を大きくうたっているが、公民館を小学校学区に1つずつとした場合、9つしか必要なくなる。迫みたいに大きいところは公民館が2つくらいあったとしても、他の町はほとんど公民館が1つになった場合に、この登米市公共施設等総合管理計画にも大きく影響を及ぼすのではないかと思った。</p>
事務局	<p>現在、21コミュニティが公民館やふれあいセンターの管理等を行っているが、確かに旧小学校単位での規模となっている。ただ、コミュニティ自体がその学校の統合と一緒にできるかというのは、まだ議論や検討が必要な部分であると思う。</p>
委員	<p>小学校の学区だけを優先させて進めることは、地域が取り残されることになるので大変危険になる。地域としては、本当は一緒に進むべきである。例えば、コミュニティが3つ、小学校が1校となった場合に、どこの公民館が子どもたちを優先して活動するのかという話が出てくるのでやるべきではない。やるなら、学校再編とコミュニティの再編と一緒に合わせてやるべきだと思う。人口減少をうたっているのであれば当然やるべきであり、大鉈を振らなければ駄目な状況が確実に来ていることは誰もがわかっていることなので、そこでやっぱり知恵を出し、勇気を絞り、職員の皆さんからそういう考えを出していただく時期がきている。</p>
委員	<p>先程、登米市の財政の話の伺って、たぶん現場の皆さんはみんな頭にはしているものの、どうしてもかっこよくするので、こうなってしまうのかなと思う。全職員に説明したということなので、そういうことを前提に、財政状況を加味した書き込みを入れるべきではないかと思った。</p>
会長	<p>本日、色々のご意見をいただいたところで、ちょっと私も付け加えたい。 基本計画見直しに当たっての4つの視点という中で、色々資料を整理していただいたが、これと今回の見直しとの関係が今一つわからないところが正直ある。</p>

	<p>今のご指摘もそうだと思うが、財政状況がこれだけ厳しいと言っている中で、現行のままで良いという書き方で本当に大丈夫なんだろうかという疑問を持たれるのが当然かと思うし、それから施設の再編に当たって25%削減するという話は、ある意味、突然出てきているようにも見えた。それぞれの分野ごとでどう対応するのかというところがよくわからないなか、「総体として25%なんですよ」のような形での表現に留まっていたので、そのあたりもこの総合計画の中でどう位置付けられるのかが、まだきちんと整理されていないのではないかなという印象を持ったところもある。</p> <p>そうしたところも踏まえながら、さらには個別のKPIでも評価をしているので、そこでなかなか目標を達成できていない分野については、当然それを見直すべきである。やり方を見直す、あるいは数値を見直す、指標を見直すなど、色々な対応の仕方はあると思うが、そういうところにも繋げていかなければいけないので、その辺りをしっかり突き合わせて整理をしていただく作業がもう少し必要という感じがした。</p> <p>本日の資料1で検証の案という形で出ているが、それぞれの分野から忌憚のない意見や、さらに厳しいご指摘をしていただければ有り難いかなというふうに思いますので、ワーキングに向けて宿題を投げるその締め切りはいつに設定すればよろしいか。</p>
事務局	お盆明けでけっこうでございます。16日あたりまで事務局の方までご連絡いただければと思う。
会長	だいぶ時間が超過し、個別に意見をいただく時間もなくなってきた。最後に全体的な内容でお話ししておきたいことはないか。
委員	<p>これまで委員皆さんお話しのとおり、人口減少や財政難ということで、将来が非常に不安となった。その辺を解決できるような見直しになってほしいと思う。その中で公共施設総合管理計画について、無駄な施設も結構あるということで、処分していくこともひとつであろうし、統廃合も避けては通れないんだと思う。その場合、住民とのコミュニケーションをしっかりとらないと、大変なことになる。本当は職員も手をつけたくないのが今までの流れだったかと思うが、もうそういったことは言っていられないので、私の思う正念場というのは、「今、どうしてもやらなければいけない」と捉えている。</p> <p>いずれにしても、急に人口が増えるわけでもないし、財源も増えるわけではないので、差し当たりは、今ある無駄をできるだけ省くことが財政改革の一番である。思い切って手を付けてほしい。</p>
委員	資料2の最終ページに「行政サービスの負担の在り方」とあるが、どういう意味か。市民が負担するということか。
事務局	例えば、施設利用の際、減免になっているケースが多いので、負担の在り方の見直しが考えられる。周辺自治体の例も参考としながら、そういった部分に対して見直しを図りたいという意味合いである。
委員	いわゆる危機的な財政状況を市民にも理解してもらおうということか。
事務局	例えば、登米市におけるサービス水準が相当高いようなところがあれば、一部

	市民の皆さんにご負担をいただくなど、現状の改善を図るための検討をさせていただきたい。当然、市民の皆さんにもご理解をいただきながら進めたいと考えている。
委員	<p>全体的に内容が後ろ向きである。今後ひとつでも二つでも前進できるものを、しっかりと捉えておく必要がある。</p> <p>ここで言っている正念場とは、財政的な部分であり、国からの特例措置がなくなるのでなんとかしよう、歳入に見合った支出にしようとの意味だけである。</p> <p>そういった財政的な部分だけではなく、登米市の未来をしっかりと見据えたとき、今、登米市を生まれ変わらせれば、将来魅力のある登米市に生まれ変わる、私はそういった正念場としてほしい。</p> <p>先ほどの委員お話しのように、財政が厳しい中というデータが出ているのに、見直しをせずにそのままでもいいのか。</p> <p>そんな中にも関わらず、登米市に魅力を感じて来ている実情もある。豊里や南方の住民が増えているし、加賀野も家がどんどん建っている。また、市税の伸びは、世帯数の増によるものというデータもあるので、そういったところをしっかりと捉えて、魅力のある方向をしっかりと打ち出してほしい。</p>
委員	過去を振り返って、検証したままではいけない。前向きに検討願いたい。
会長	交通分野からしても、県北高速幹線道路が完成すれば人の流れも変わってくるので、それをどう生かすか。そういった視点も必要と考えている。
委員	三陸道、東北道、県北道路も完成すると、登米市が単なる通過地点となることを危惧している。
会長	何も戦略を持たなければ、どんどん吸われていくだけなので、逆にそれをどう取り込むかを考えないといけない。
委員	<p>単なる空洞化にされてしまっただけでは困るので、登米市に住宅を求めてくるのであれば、交通の利便性をアピールしたり、固定資産税を減額したりするなど、いろいろな施策を考えれば人口増につながるはずである。</p> <p>また、先程委員お話しイベント宿泊について、あまり表に出ていないが、昨日、今日と高校生が中田アリーナへ合宿に来ている。なぜ来るようになったかという、それは交通アクセスが良くなったことが大きな要因となっている。</p> <p>市外からの交流人口は、アリーナに限ってだけでも、相当の人数が来ている。そういったことをしっかりと捉えて、後ろ向きの話だけではなく、施策の選択と集中を踏まえた見直しが必要と感じている。</p>
会長	<p>大変多くの貴重な意見をいただきましたが、総括すると厳しい状況を十分踏まえつつ、未来を見据えた前向きな施策も打ち出してほしいということだと思うので、そういった点をワーキングで議論させていただきたい。</p> <p>以上で議題を閉じさせていただきます。</p>
【4 その他】	
<p>次回の審議会の開催は、11月6日を予定させていただきたい。ご都合をつけていただき、ぜひご出席をお願いします。</p>	
【5 閉会】	

会長	<p>本日は、長時間にわたり熱心なご議論をいただき、ありがとうございました。</p> <p>最後にありましたが、登米の未来が輝くように、前向きな見直しもぜひやっていきたいと思う。それに向けて、皆様からの良いアイデアをお出しいただければと思うので、今後ともよろしくお願いします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
----	--